

漁海況情報第7報 (2025年2月18日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

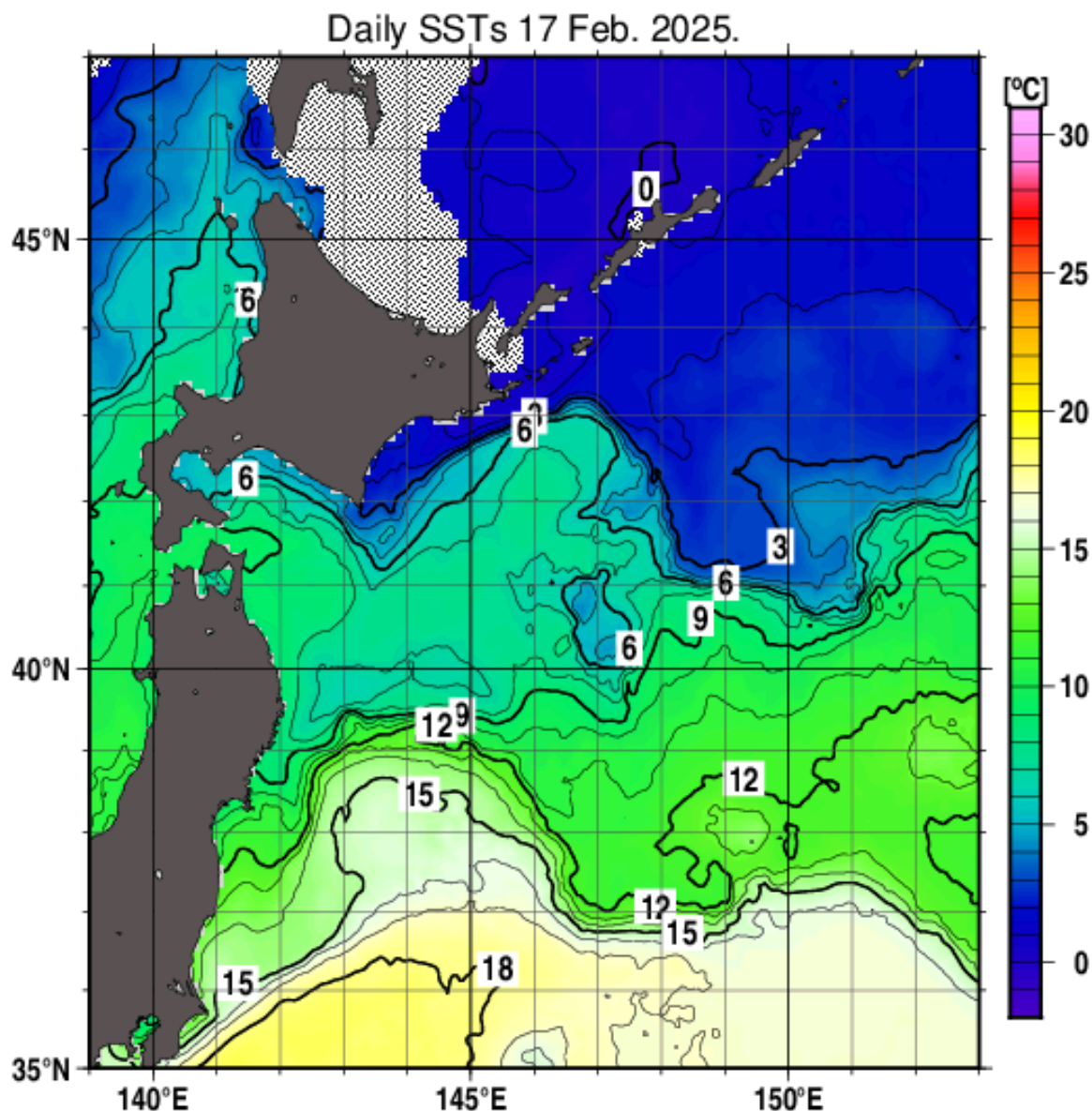


1. 海況

黒潮続流が南下したことにより沿岸の水温は徐々に低下し始めましたが、黒潮大蛇行は継続する予報なので今後も注意が必要です。

気象庁が提供している日別海面水温 (https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/db/kaikyo/daily/sst_HQ.html) を見ると、宮城県沿岸の表面水温は、1月中旬の15℃程度から8～12℃まで低下しました。

しかし、黒潮続流の北側には暖水が残っており、宮城県沿岸を覆っています。そのため、宮城県沿岸は概ね平年値を2～4℃程度上回っています。



気象庁ホームページ（日別海面水温）より
(2025年2月17日)

2. 表面水温分布状況

仙台湾周辺の表面水温（図1）は概ね10～13℃の範囲です。

平年（過去30年平均）との比較（図2）では、2～4℃高めとなっており、沖側から暖水が波及してきていることが伺えます。極端に高水温であった昨年同時期と比較すると仙台湾奥部では4℃程度低くなっていますが、沖側は1～2℃低くなっています（図3）。

今後は寒気の影響により徐々に低下するものと思われます。

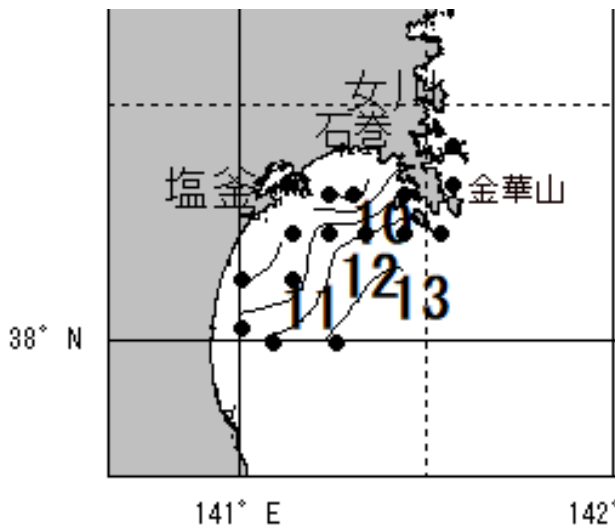


図1 表面水温分布図
(2025年2月16日～2月17日)

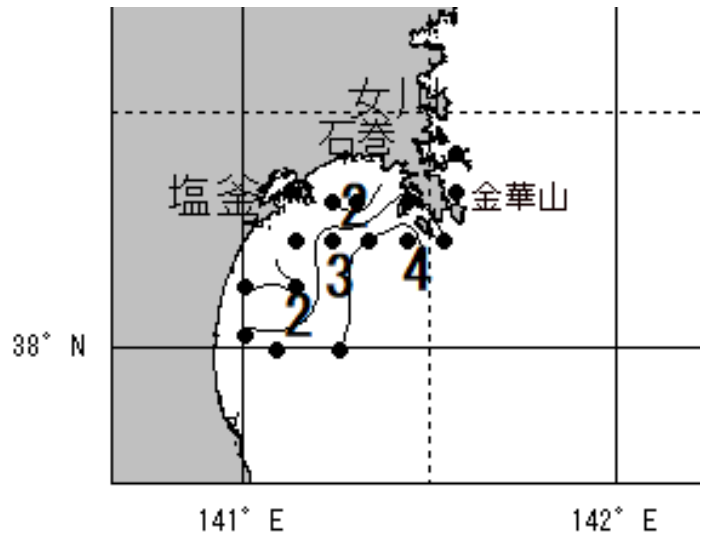


図2 表面水温平年偏差図
(2025年2月16日～2月17日)

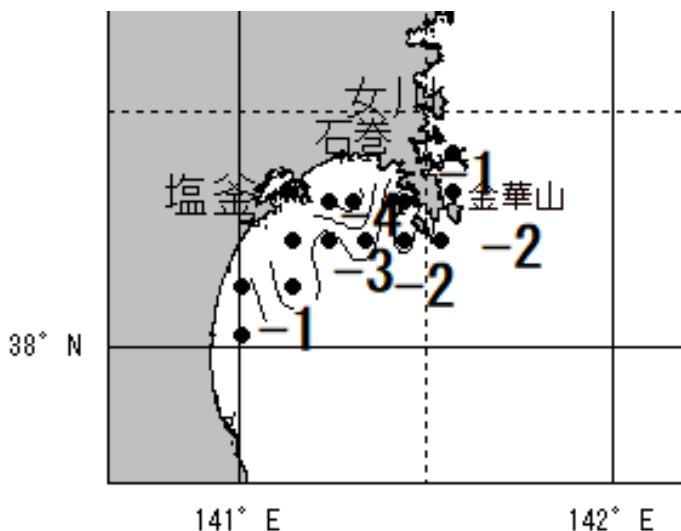


図3 表面水温前年偏差図
(2025年2月16日～2月17日)

3. 10m深水温分布状況

表面水温に比べ1～2℃程度低く（図4）平年より2～3℃程度高めです（図5）。
昨年同時期と比べると仙台湾内は1～2℃低く、湾口部では4℃低くなっています（図6）。

黒潮続流の直接の影響はなくなりましたが、引き続き暖水に覆われていますので平年より高めの状態が継続するものと思われます。

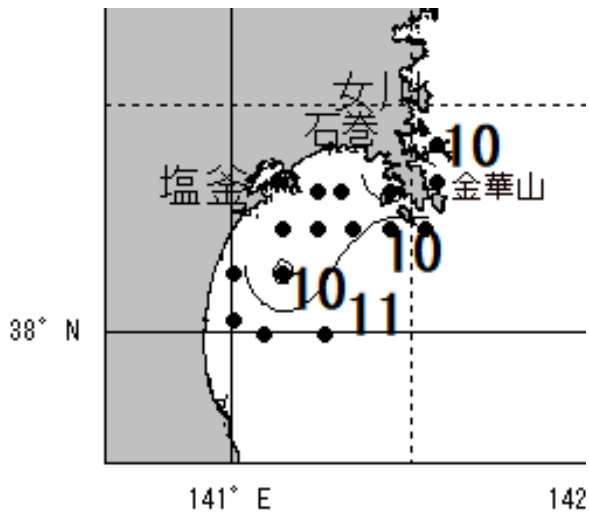


図4 10m水温分布図
(2025年2月16日～2月17日)

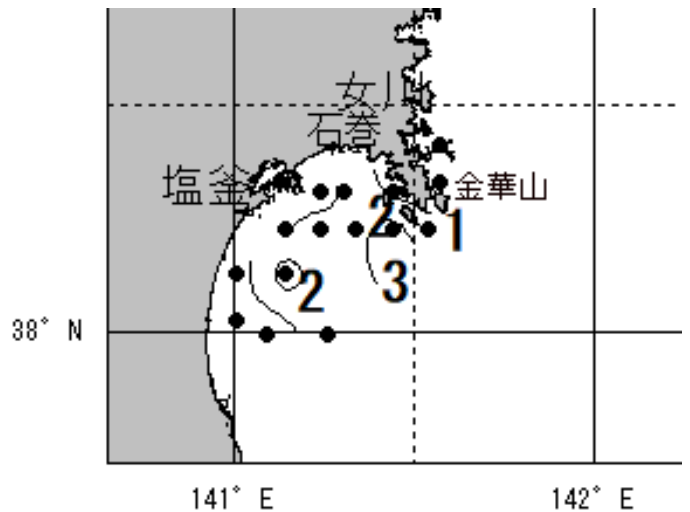


図5 10m水温平年偏差図
(2025年2月16日～2月17日)

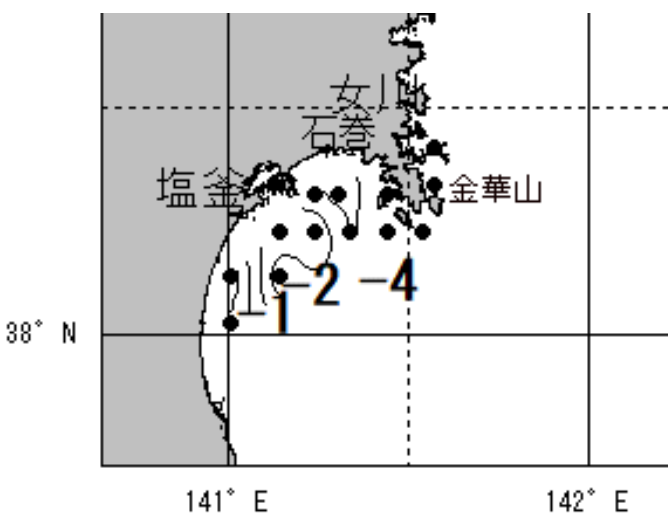


図6 10m前年偏差図
(2025年2月16日～2月17日)

4. 海底直上水温分布状況

仙台湾内では概ね10m深水温と同様になっています。(図10)。今後は表面水温の低下とともに徐々に低下するものと思われます。

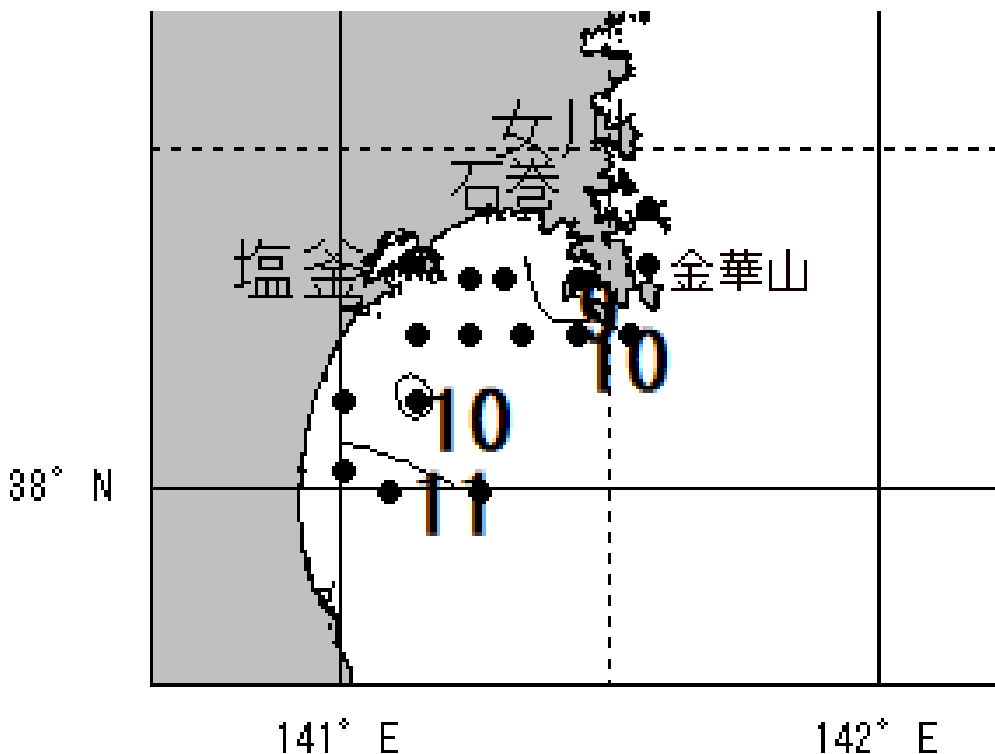


図10 海底直上水温分布図
(2025年2月16日～2月17日)

5. 漁況

定置網でマイワシが豊漁になっています。

本年1月の定置網でのマイワシ水揚量が過去5か年平均の2倍約4.6千トンありました。

6・定置観測水温の状況

定置観測水温は各定点で低下していますが、依然として平年値と比べ「極めて高め」～「やや高め」なっていますので、今後も注意して下さい。

	2 上旬		平年差	前年差
	値	評価		
気仙沼（杉ノ下）	9.8	高め	2.1	-3.8
歌津	10.5	高め	2.3	-4.0
江島	12.5	極めて高め	3.8	-1.8
田代島	10.7	極めて高め	3.4	-2.7
佐須浜	8.7	高め	2.0	-1.2
桂島	5.3	やや高め	0.8	-0.4
亘理	8.6	高め	1.6	-1.3



みやぎ水産NAVI

下記のグラフや日々の水温を見ることができます。

